

第714回10月度月例大会

レポート：田邊

場所：和歌山県由良町三尾川 山口渡船 Tel:0738-66-0702

日時：2022年10月15日 土曜日

集合時間 午前5時00分

出船時間 越前6時00分

納竿時間 午後5時00分

今年最後となる月例会は標記の場所三尾川の山口渡船で行われました。

2013年の6月第570回月例会に参加して以来久々の参加です。いつもの開催時期は6月でしたが今回は10月、秋の開催は初めてだと思います。筏は沖3台を予約済みとのこと。

今回も松元会長の車に同乗させてもらい自宅を9時ごろ出発。途中、生き餌を求めてサワムラでシラサエびを買い(ボケは入荷なし)、フィッシングマックスでカメジャコ(予約)を受け取りそして松元会長が大阪南港のT-PORTにボケがある情報得ていたので寄るとのこと。ここでボケを調達。

ボケ餌はここ悪天候が続くことにより業者は生計が立たず廃業したり他の業種に転職したりして入荷は無いそうです。

今日の参加者は7名、抽選で乗る筏を決めます。その結果、手前の筏に松元会長と秋山氏、次の中間筏に私と金物氏、沖筏に山田氏、山川氏と西山氏の3名。

今日の潮は中潮、満潮が9時03分干潮が14時14分、時合は納竿までに2度訪れることになる。

釣り座は沖向き左に金物氏、右側に私。いよいよ釣り開始ですが筏の上でこれから釣り仕掛けの準備です。最近、何をしても要領よく支度ができません。金物さんはすでに竿を出し打ち返しをしています。時折竿を曲げていますが途中でバラシ?「アレッ何やろな、食いが浅いやろか?」と言いながら何度か繰り返しています。

私の方は何とか準備が整い、まずカメジャコを刺し餌にして様子を見る。少し置いていると無くなる。ボケ餌でも同じような状態です。7時ごろダンゴで餌を落とし込みに切替てからエサ取りが活発に動き出したような気がする。フグのお出ましで知らぬ間にハリが無くなる、また竿にかかる。大きなアイゴ、ハゲ、カサゴ等。金物さんが猛毒を持つミノカサゴを釣り上げていました。

満潮の9時も過ぎてしまいましたが沖筏でチヌが上がった様です。これは時合到来か?と気合が入ります。その兆候が出たのはヘダイが釣れました。この魚も群れで移動しているようです。

この魚に交じって40cm位のチヌが釣れました。その後昼頃までに30cm位を1匹追加。

船頭さんが見回りに来た時、屋からは風が出ますので筏の揺れに注意をして下さいとの事でしたが実際に沖からの風が吹き始めると波が高くなり筏は木の葉のように揺れ始め立って歩くことが出来ません。座椅子も後ろに引き、身の安全を確保します。このような条件下でも海の底で魚君は活発に餌を捕食しているようです。当りをとるため穂先に神経を集中!! 押さえ込む当りを合わせると見事ヒット。何度かの締め込まれる竿を左手で支える事が出来ず筏下に入れられ筏の淵にラインが接触ジ・エンド残念無念(未熟でした)六丸クラスだったと思う。それからこのショックを乗り越えて40cm弱を1匹追加した。この分だと納竿までに5匹ぐらいは釣れると頑張ったが3匹でした。お疲れさまでした。

参加者：松元会長、金物、山田、山川、秋山、西山、田邊 以上7名 (敬称略)

長寸優勝：山田さん(45.5cm)、45cm、29cm 計3匹

長寸2位：山川さん(43cm)、西山さん(43cm)

匹数優勝：田邊(3匹)41cm、38cm、31cm

匹数2位：該当者なし